

## 平成 17 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 17 年 8 月 4 日

会社名 **太洋物産株式会社**

（ JASDAQ ・ コード番号 : 9 9 4 1 ）

（ URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp> ）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長：柏原 弘 T E L : ( 03 ) 5402-8181

責任者役職・氏名 執行役員 総務部長：宮内 敏雄

### 1 . 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有・無

（内容）税金費用等、一部簡便的な方法を採用しております。

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有・無

その他

当社は、当期から「四半期財務・業績の概況」を作成しておりますので、前年同四半期（平成 16 年 9 月期第 3 四半期）の売上高以外については、「 - 」で表示しております。

### 2 . 平成 17 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 10 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

#### （1）経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 9 月期 第 3 四半期	45,822	4.1	266	-	257	-	454	-
16 年 9 月期 第 3 四半期	47,768	-	-	-	-	-	-	-
（参考）16 年 9 月期	65,148		315		304		130	

	1 株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 9 月期 第 3 四半期	54	20	-	-
16 年 9 月期 第 3 四半期	-	-	-	-
（参考）16 年 9 月期	15	51	-	-

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

#### [ 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当四半期までの当社を取り巻く環境は、一昨年末からの米国産牛肉および昨年初からの中国・タイ産のブロイラー生肉の輸入停止の長期化や、資源価格の高騰、中国における自動車の新規制の発布など、商況は依然として厳しい状況にありました。

このような環境下、当社は、仕入ルートの拡大や高付加価値商品の開発などに積極的に取り組みました。しかし、主力取扱商品である牛肉の輸入停止や中国における自動車の安全に関する新規制の発布の影響が大きく、売上高は 458 億 22 百万円（前年同期比 19 億 45 百万円減、4.1%減）となりました。経常利益は 2 億 57 百万円となりましたが、当中間会計期間末において商品評価損を特別損失に計上したことにより、当四半期純損失は 4 億 54 百万円となりました。（部門別の状況は、添付書類を参照。）

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1 株 当 たり 株 主 資 本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17 年 9 月 期 第 3 四 半 期	19,924	5,990	30.1	714	32
16 年 9 月 期 第 3 四 半 期	-	-	-	-	-
(参考)16 年 9 月 期	19,257	6,481	33.7	772	80

【キャッシュ・フローの状況】

	営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	現 金 及 び 現 金 同 等 物 四 半 期 末 ( 期 末 ) 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17 年 9 月 期 第 3 四 半 期	760	22	2,043	1,507
16 年 9 月 期 第 3 四 半 期	-	-	-	-
(参考)16 年 9 月 期	527	392	154	202

[ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

当四半期における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ 13 億 5 百万円増加し、15 億 7 百万円となりました。また、当四半期における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

当四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少 5 億 60 百万円、未払費用の増加 2 億 28 百万円等の収入がありましたが、たな卸資産の増加 11 億 75 百万円、仕入債務の減少 6 億 12 百万円等の支出により、7 億 60 百万円の支出となりました。

( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

当四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得 3 百万円等の支出がありましたが、投資事業組合からの分配金 18 百万円、保証金の返還 5 百万円等の収入により、22 百万円の収入となりました。

( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

当四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出 54 百万円等がありましたが、短期借入金による純収入 21 億円により、20 億 43 百万円の収入となりました。

添付資料：(要約)四半期貸借対照表、(要約)四半期損益計算書、(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書  
四半期部門別売上高

【参 考】

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当該四半期の業績は、概ね「平成 17 年 9 月期 中間決算短信(非連結)」に記載の予想に沿った推移をいたしておりますので、通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はございません。

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

以 上

<b>添付資料</b>
-------------

1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	増 減		( 参 考 )
	〔平成17年9月期 第3四半期末〕 平成17年6月30日現在	〔平成16年9月期 第3四半期末〕 平成16年6月30日現在	金 額	増減率	平成16年9月期 平成16年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	1,507,864	-	-	-	202,330
受取手形	597,314	-	-	-	376,863
売掛金	8,774,151	-	-	-	9,484,418
有価証券	99,950	-	-	-	99,950
たな卸資産	6,350,781	-	-	-	5,938,096
その他	946,421	-	-	-	1,390,826
貸倒引当金	81,000	-	-	-	77,009
流動資産合計	18,195,482	-	-	-	17,415,476
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	639,281	-	-	-	650,497
無形固定資産	9,448	-	-	-	12,017
投資その他の資産	1,143,948	-	-	-	1,209,612
貸倒引当金	63,916	-	-	-	30,389
固定資産合計	1,728,761	-	-	-	1,841,738
資産合計	19,924,244	-	-	-	19,257,214
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
支払手形	878,335	-	-	-	875,501
買掛金	1,815,254	-	-	-	2,430,181
短期借入金	8,500,000	-	-	-	6,400,000
未払費用	1,839,042	-	-	-	1,610,569
未払法人税等	4,095	-	-	-	-
その他	396,609	-	-	-	893,700
流動負債合計	13,433,337	-	-	-	12,209,952
<b>固定負債</b>					
長期借入金	260,000	-	-	-	260,000
退職給付引当金	41,177	-	-	-	112,032
役員退職引当金	198,650	-	-	-	193,438
その他	127	-	-	-	425
固定負債合計	499,954	-	-	-	565,896
負債合計	13,933,291	-	-	-	12,775,849
<b>(資本の部)</b>					
資本金	1,149,859	-	-	-	1,149,859
資本剰余金	1,111,800	-	-	-	1,111,800
利益剰余金	3,679,661	-	-	-	4,188,763
その他有価証券評価差額金	49,910	-	-	-	31,220
自己株式	279	-	-	-	279
資本合計	5,990,952	-	-	-	6,481,364
負債及び資本合計	19,924,244	-	-	-	19,257,214

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	増 減		(ご参考)
	(平成17年9月期) 〔第3四半期〕 自：平成16年10月1日 至：平成17年6月30日	(平成16年9月期) 〔第3四半期〕 自：平成15年10月1日 至：平成16年6月30日	金 額	増減率	平成16年9月期 自：平成15年10月1日 至：平成16年9月30日 金 額
<b>売上高</b>	45,822,840	47,768,685	1,945,845	4.1	65,148,488
<b>売上原価</b>	44,497,630	-	-	-	63,497,305
売上総利益	1,325,210	-	-	-	1,651,183
<b>販売費及び一般管理費</b>	1,058,644	-	-	-	1,335,195
営業利益	266,566	-	-	-	315,988
<b>営業外収益</b>					
受取利息	1,236	-	-	-	4,272
受取配当金	1,978	-	-	-	1,827
受取賃貸料	3,533	-	-	-	4,865
為替差益	15,829	-	-	-	28,464
その他	11,502	-	-	-	15,249
営業外収益合計	34,080	-	-	-	54,679
<b>営業外費用</b>					
支払利息	31,001	-	-	-	44,921
支払保証料	7,599	-	-	-	8,849
その他	4,664	-	-	-	12,229
営業外費用合計	43,265	-	-	-	66,000
経常利益	257,382	-	-	-	304,667
<b>特別利益</b>	21,913	-	-	-	5,984
<b>特別損失</b>	762,688	-	-	-	2,583
税引前(当期)純利益又は 税引前四半期純損失	483,392	-	-	-	308,068
税金費用	28,805	-	-	-	177,932
(当期)純利益又は四半期 純損失	454,587	-	-	-	130,136

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当 四 半 期 〔平成17年9月期〕 〔第3四半期〕 自：平成16年10月1日 至：平成17年6月30日	前 年 同 四 半 期 〔平成16年9月期〕 〔第3四半期〕 自：平成15年10月1日 至：平成16年6月30日	(ご参考) 平成16年9月期 自：平成15年10月1日 至：平成16年9月30日
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前(当期)純利益 又は 税引前四半期純損失	483,392	-	308,068
減価償却費	16,905	-	19,073
貸倒引当金の増減額( は減少額)	37,518	-	328,231
退職給付引当金の増減額( は減少額)	70,855	-	9,060
役員退職引当金の増減額( は減少額)	5,212	-	18,464
受取利息及び受取配当金	3,215	-	7,566
支払利息	31,001	-	44,921
為替差益	34	-	8,568
商品評価損	762,505	-	-
売上債権の減少額	560,190	-	748,703
たな卸資産の増加額	1,175,190	-	928,434
仕入債務の増減額( は減少額)	612,092	-	524,878
未払費用の増減額( は減少額)	228,472	-	244,564
その他	154,212	-	235,151
小 計	857,187	-	116,276
利息及び配当金の受取額	3,232	-	8,114
利息の支払額	30,565	-	45,043
法人税等の支払額	2,570	-	374,267
法人税等の還付額	126,818	-	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	760,271	-	527,473
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	3,304	-	31,411
保証金の返還による収入	5,294	-	-
投資事業組合への出資の回収による収入	18,150	-	-
その他	2,281	-	423,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,422	-	392,339
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額	2,100,000	-	100,000
配当金の支払額	54,443	-	54,508
その他	2,400	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,043,156	-	154,508
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	226	-	8,657
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	1,305,533	-	280,984
現金及び現金同等物の期首残高	202,330	-	483,315
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,507,864	-	202,330

#### 4. 四半期部門別売上高

(単位：千円、%)

	当 四 半 期 〔平成 17 年 9 月期〕 〔第 3 四 半 期〕	前 年 同 四 半 期 〔平成 16 年 9 月期〕 〔第 3 四 半 期〕	増 減		(ご参考) 平成 16 年 9 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
農 産 部	16,473,469	17,785,884	1,312,415	7.4	24,612,025
食 糧 部	20,613,005	19,792,928	820,077	4.1	27,622,249
生 活 産 業 部	5,135,618	3,706,497	1,429,121	38.6	5,378,481
産 業 機 材 部	3,600,747	6,483,374	2,882,627	44.5	7,535,732
合 計	45,822,840	47,768,685	1,945,845	4.1	65,148,488

##### 【農 産 部】

食品用大豆（Non-GMO（遺伝子非組み換え）大豆）においては、天候相場によって当第2四半期から当第3四半期にかけて底値圏から市場価格が上昇いたしました。国内での大豆の荷動きは鈍く売上高は前年同期比減少となりました。

菜種においては、市場価格は低迷していたものの、取扱数量の拡大により前期並みの売上高を上げることができました。

この結果、売上高は164億73百万円（前年同期比13億12百万円減、7.4%減）となりました。

##### 【食 糧 部】

牛肉においては、BSEの発生から米国産の輸入停止が続き、6月には再度BSE感染牛が発覚し、輸入再開時期が不透明感を増す中、市場価格は高値圏で推移いたしました。その中で、オセアニアからの輸入パイプの強化やメキシコ産牛肉の輸入開発等に積極的に取り組みましたが、米国産の輸入停止の影響をカバーするには至らず、売上高は前年同期比減少となりました。

ブロイラーにおいては、昨年初の鳥インフルエンザの発生により主要産地（中国・タイ）からの生肉の輸入停止の状況が長期化する中、ブラジル産の高規格商品の開発や中国・タイでの加熱加工品等に注力し、取扱数量を拡大することができました。また、価格面においても比較的高値圏で推移したことも加わり、売上高を前年同期比増加させることができました。

この結果、売上高は206億13百万円（前年同期比8億20百万円増、4.1%増）となりました。

##### 【生 活 産 業 部】

原油等の資源価格が高騰する中、鉄鋼関係については新たな商流の獲得により大幅に売上高を伸ばすことができましたが、アジア向け輸出が中心である化学品については内外価格差の影響もあり苦戦を強いられました。繊維関係については、自由化の影響をカバーすべく付加価値の高い縫製品等へのシフトを積極的に推進し、前年同期並みの売上高を確保することができました。

この結果、売上高は51億35百万円（前年同期比14億29百万円増、38.6%増）となりました。

##### 【産 業 機 材 部】

中国においては、インフラ整備による建機の需要は旺盛にあるものの、昨年春に実施された「金融引締政策」の影響により当事業年度の前半において販売が停滞しました。また、今年になって安全面における中国政府による新規制（3C強制認証）が発せられたことに対する国内メーカーの対応の遅れ等の影響により、輸出台数の減少を強いられ、売上高は前年同期比大幅な減少となりました。

この結果、売上高は36億円（前年同期比28億82百万円減、44.5%減）となりました。

以 上